答 申 書

南箕輪村創生総合戦略の検証

南箕輪村むらづくり委員会

令和８年１月

令和８年１月 27 日

南箕輪村長　藤城　栄文　様

南箕輪村むらづくり委員会
会　長　足立　芳夫

南箕輪村創生総合戦略の検証に係る答申について

令和３年７月６日付け３地第 149 号で諮問されました「南箕輪村創生総合戦略の検証」について、以下のとおり答申いたします。

１．検討の経緯と結果

令和７年 10 月 28 日から３回にわたるむらづくり委員会において、「南箕輪村創生総合戦略」の検証を行いました。検証結果は、添付資料のとおりです。

南箕輪村創生総合戦略の検証結果

基本目標	施策・数値目標項目に対する検証判断結果（28 項目）		基本目標に対する検証判断結果
（１）立地特性を生かした職住近接のむらづくり【６項目】	順調	３項目	おおむね順調
	おおむね順調	１項目	
	努力を要する	１項目	
	改善・対策を要する	１項目	
（２）若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり【８項目】	順調	３項目	おおむね順調
	おおむね順調	２項目	
	努力を要する	３項目	
	改善・対策を要する	０項目	
（３）安心して子どもを産み育てることのできるむらづくり【９項目】	順調	５項目	おおむね順調
	おおむね順調	２項目	
	努力を要する	２項目	
	改善・対策を要する	０項目	
（４）誰もが安心して暮らし続けられるむらづくり【５項目】	順調	２項目	おおむね順調
	おおむね順調	２項目	
	努力を要する	１項目	
	改善・対策を要する	０項目	

施策・数値目標項目に対する検証判断結果 28 項目のうち、「努力を要する」又は「改善・対策を要する」とした数値目標項目は以下のとおりです。

（1）立地特性を生かした職住近接のむらづくり

判断結果	数値目標項目名
努力を要する	企業振興補助金交付事業所数
改善・対策を要する	就労情報へのアクセス数

（2）若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり

判断結果	数値目標項目名
努力を要する	移住、定住情報へのアクセス数
	持ち家世帯の区加入率
	「ふるさと名物」商品化件数

（3）安心して子どもを産み育てることのできるむらづくり

判断結果	数値目標項目名
努力を要する	登下校見守りボランティア登録者数
	わくわくクラブ会員数

（4）誰もが安心して暮らし続けられるむらづくり

判断結果	数値目標項目名
努力を要する	防災に関する出前講座開催数

２．付帯意見

（１）立地特性を生かした職住近接のむらづくり

【施策２　魅力的な農業経営の確立】

（KPI５　中核的経営体が地域の農地に占める面積のシェア）

　中核的経営体である認定農業者などが資金調達をしたい場合などに、相談にのれるような体制の構築も検討されたい。

【施策３　移住者や女性の就業支援】

（KPI８　就労情報へのアクセス数）

　上伊那広域連合の就活事業に村として参加しており、その際、村の就活サイトは廃止とした経緯がある。村独自のアクセス数ではなく上伊那全体のものとなっているため、別の指標などを検討されたい。

（２）若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり

【施策２　村内移住・定住・若者回帰の推進】

（KPI14　移住、定住情報へのアクセス数）

　目標値は達成しているが、前年よりアクセス数が減っている。移住定住サイトから就労情報へアクセスしやすくしたり、移住者が見たいと思う情報を掲載したりするなど、随時内容の見直しも検討されたい。

（KPI15　持ち家世帯の区加入率）

　区に入らない理由や脱退する理由をしっかり把握し、丁寧に対応することが大切ではないか。区役員の負担軽減を考えてくれていることは分かるが、その負担がなくなって

も、区ではその仕事を今後まったくしなくてもよいのか、必要なら区が独自に実施する必要があるのか、区の役員が迷ったり、困ったりすることがないよう、丁寧な説明が必要だと考える。

【施策３　南箕輪の魅力開発とブランドづくり】

（KPI19　「ふるさと名物」商品化件数）

ふるさと名物の認定を受けた場合のメリットをもっと PR すればよいのではないか。認定期間が切れた商品もあるとのことで、認定を更新してくれるような認証制度のメリットが必要だと考える。

（３）安心して子どもを産み育てることのできるむらづくり

【施策１　妊娠出産・子育て支援の充実】

（KPI22　登下校見守りボランティア登録者数）

見守りボランティアが減っているが、安協や地区 PTA で補完できているのか疑問である。見守りをする時期を各団体で調整するなど、計画的に見守り活動をすることも必要ではないか。

【施策２　教育の充実】

（KPI27　わくわくクラブ会員数）

わくわくクラブでは、会員増を目指し、講座の内容などを見直すことも検討しているようである。わくわくクラブ、クラブ所属団体ともに新規会員の勧誘や PR を行っているので、村としても会員増加に向けての情報発信や PR にしっかりと協力されたい。

（４）誰もが安心して暮らし続けられるむらづくり

【施策３　自然環境に育まれるむらづくり】

（KPI36　河川愛護活動の実施回数）

大泉川など村内の河川でもアレチウリがかなり繁茂している個所が見受けられる。広域的な取組みも必要だと考えるが、活動に多くの方に参加してもらえるように周知も広く行ってもらいたい。

〈全般〉

第２期南箕輪村創生総合戦略は、南箕輪村第５次総合計画後期基本計画と連動した施策とするため、令和３年３月に策定された。令和３年度から令和６年度までの事業について、第５期・第６期むらづくり委員会において、計画の数値目標に対する達成状況を検証してきた。

今回の検証の結果、「努力を要する」又は「改善・対策を要する」とした数値目標項目は８項目あった。そのうちの６項目は、目標の設定時から達成値の取得方法などが変更されている、目標値の設定が現状に則していないというもので、計画期間中で目標数値を変更できないため、やむを得ない部分もある。

令和８年度から、第６次総合計画と連動した新たな南箕輪村創生総合戦略がスタートするが、今回「努力を要する」又は「改善・対策を要する」とした８項目のうち４項目は引き継がれる。それぞれの施策の課題を改めて検討し、持続的で活力ある村の実現に取り組んでもらいたい。

【参考】「努力を要する」又は「改善・対策を要する」とした項目のうち、
次期創生総合戦略に引き継がれる項目　　（　）は新名称

移住・定住情報へのアクセス数
持ち家世帯の区加入率
「ふるさと名物」商品化件数（観光協会推奨品認定件数）
防災に関する出前講座開催数（防災に関する研修会等の開催数）

３．南箕輪村創生総合戦略の検証についてのむらづくり委員会開催の経過

（令和７年度）

開催日		内容
第 26 回	令和７年 10 月 28 日	○南箕輪村創生総合戦略の検証①について
第 27 回	令和７年 11 月 11 日	○南箕輪村創生総合戦略の検証②について
第 28 回	令和７年 11 月 25 日	○南箕輪村創生総合戦略の検証（まとめ）について

むらづくり委員名簿（第６期）

役職	氏　名	区推薦・村長指名・公募・専門委員
会長	足立　芳夫	北原区推薦
会長職務代理	松田　聖一	公　　募
	山岡　勉	久保区推薦
	長谷川　義隆	中込区推薦
	加藤　直樹	塩ノ井区推薦
	高木　武	北殿区推薦
	唐木　茂人	南殿区推薦
	酒井　きよみ	田畑区推薦
	清水　真知子	神子柴区推薦
	伊久間　美昭	沢尻区推薦
	伊澤　武善	南原区推薦
	北原　泰司	大芝区推薦
	清水　克俊	大泉区推薦
	田口　和弘	村長指名
	小椋　信子	村長指名
	菅家　美果	村長指名
	新村　典久	村長指名
	平野　幸代	村長指名
	千　菊夫	村長指名
	富岡　順子	村長指名
	橋場　麻衣子	村長指名
	入倉　眞佐子	村長指名
	宮坂　大樹	公　　募
	原　和彦	アルプス中央信用金庫 信大前支店長
	井口　千鶴	上伊那農業協同組合南箕輪支所長
	稲生　正徳	日本郵便南箕輪郵便局長
	吉川　つづり	伊那ケーブルテレビジョン
	三澤　聡	土地家屋調査士